

経験型実習教育における教材化について学ぶ

2022年度 臨地実習指導研修会が開催されました。
研修会の様子と参加者アンケート集計結果をご報告いたします。

開催日程：2023年3月5日（日）10:00～16:00

開催方法：Zoomによるオンライン研修

研修目的：学生の実習経験を生かした「経験型実習教育」を理解し、実践に向けた示唆を得る。

研修目標：1.「経験型実習教育」における教材化とその実際を理解する
2.研修を通して、各自が学生の経験を教材として活用する教授活動の現状と課題を明確化する。

講師：安酸 史子先生(JANE副理事長・関西医科大学)

企画・運営者：

教育活動委員長 白水真理子(姫路大学)

副委員長 池西静江(Office Kyo-Shien)

委員 江本リナ(日本赤十字看護大学)、栗原幸子(沖縄県立看護大学)、
曾田陽子(愛知県立大学)、服部美穂(人間環境大学)、
松田安弘(群馬県立県民健康大学)、山口みのり(静岡県立大学)

* 研修会スケジュール

1. 講義「経験型実習教育における教材化」（安酸史子先生）
2. グループワーク：ワークシートに基づいた教材化の検討
3. 全体シェアリング
4. 安酸先生の講評と全体のまとめ

研修会の様子

大島理事長 挨拶

白水委員長 挨拶

池西副委員長 挨拶

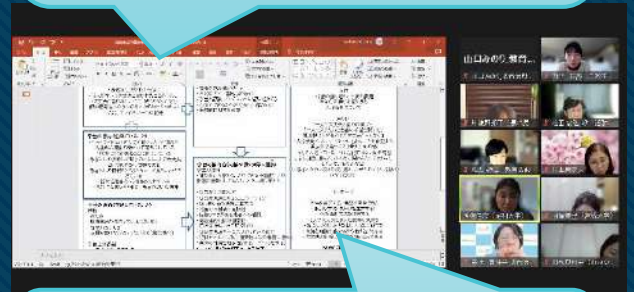


安酸史子先生 講義と講評

グループワーク発表風景



学生の強みは、患者の側に立って考えることができていること…
課題は、得た情報を今後の患者の生活につなげていく視点をもつこと…



関わりの方針としては、学生として共感できる部分をとっかかりにして考えていけるように…



参加者の皆様との記念撮影



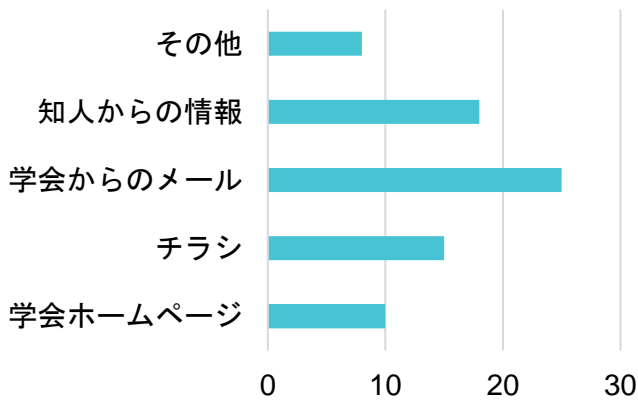
研修会参加者アンケート集計結果

参加者79名：会員42名、非会員37名

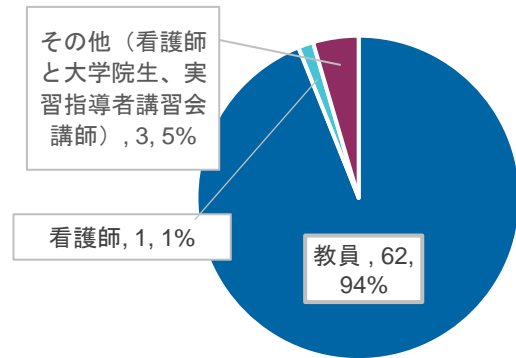
回答者66名(回収率99.0%)※：会員32名(48.5%)、非会員34名(51.5%)

※午後のグループワークまで参加した67名で算出。

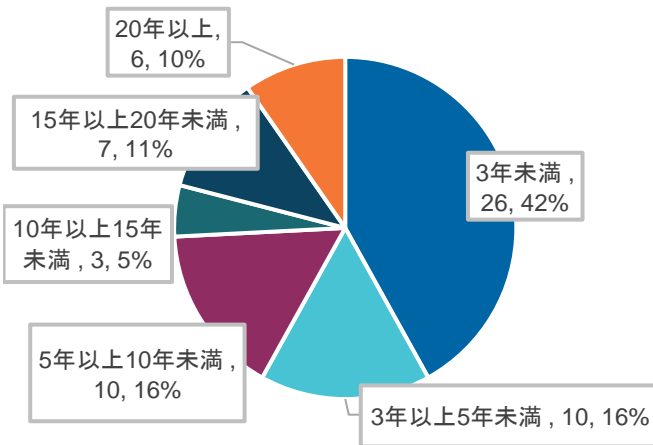
研修会を知った方法（複数回答）



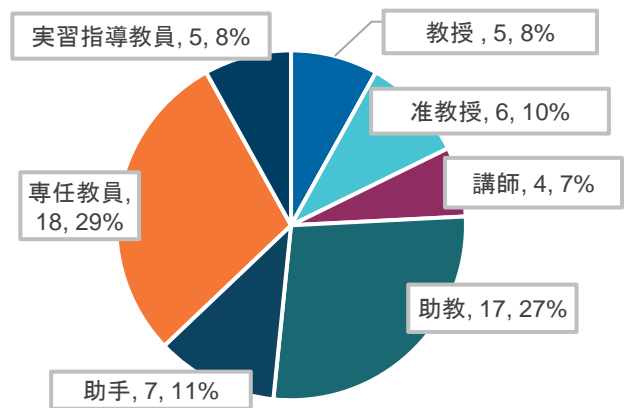
職種



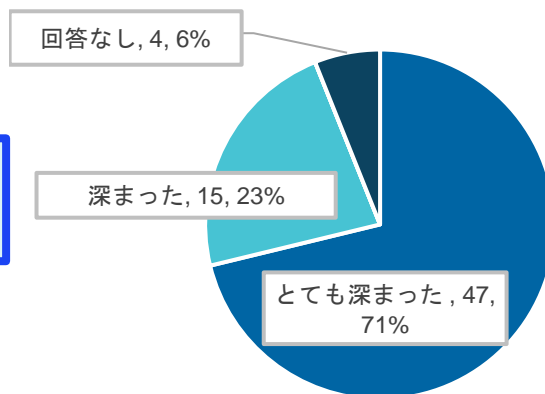
教員の経験年数



教員の職位

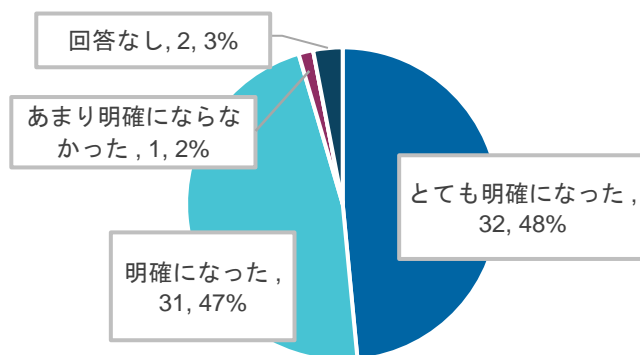
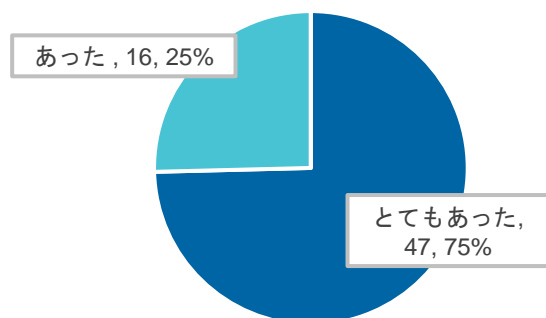


経験型実習教育における教材化の理解



臨地実習指導の改善につながる学び

自己の課題の明確化



研修会への意見、感想、要望等（一部抜粋）

事例に沿って具体的に状況をイメージしながら、どこに焦点を当てて学生に関わるのか、どのように学生と共に考えていくのかについて、様々なバリエーションを考えることができました。グループワークをとおして視野を広げることができ、意見の違いから自分自身の大切にしていることにも気づくことができました。実際の実習指導場面で、その都度効果的な行為の中のリフレクションができるかどうか自信はありませんが、本日学んだ視点を活用して臨んでみたいです。

参加者のほとんどが教員でしたが、臨床看護師の参加が増えると連携がはかれ、さらにより研修になると思いました。臨床で教育を担うメンバーにも声をかけ、次回参加できればと思います。今回の研修で、さまざまな指導方法や言葉かけをグループで考えることができとても良い学びとなりました。

安酸先生の講義は、いつ聞いても分かりやすいと思いました。身近にある、誰もが経験している教育上困ったことが題材となっており、理解しやすかったです。

教員を始めたばかりの初心者自分にとって、どのように学生の実習指導に携わって良いのか模索していた中で受講しましたので、とてもタイムリーな内容で学びが多かったです。あくまで私の印象ですが、看護技術同様に、教員の指導方法も、言語化されていない（できない）、マニュアル化されていない（できない）部分が多く、教員の経験値で指導のクオリティが左右されてしまう、ゆえに学生の学習内容に偏りが生じてしまうのではないかと自分の指導を危惧していましたが、今回、教材化するグループワークを通して、経験豊富な教員方のご意見を聞き新たな視点を学ぶことができたり、同じような状況に陥っている話も聞いて大変学びが多かったです。また機会があれば、こういったワークに参加させて頂きたいと思いました。充実した研修でした。

グループワークに提示された事例はどれも興味深くまた頻回に出会う場面であり、非常に楽しく学ぶ機会となりました。

実習指導員として3年たちましたが、教材化については日々どのようにしたらよいのか、何が教材化なのか悩みながら学生と向き合っています。安酸先生のご講義を聞き、今まで参考書で見ていた「実践知」・「反省的実践家」・「リフレクション」などそれぞれの意味を改めて学ぶことができ、安酸先生の事例をもとに教材化の視点を学ぶことができました。グループワークでは経験豊富な先輩方と意見交換ができ、教材化に必要な視点や、学生を丁寧に見ることを学ぶことができました。また、自分自身の傾向にも改めて気づくことができました。全国の看護教員の先生方とつながることができ、とても貴重な時間となりました。看護教育に更に興味関心がわきました。

講義、グループワーク、全体共有から教材化とその実際を理解することができました。また、事例に応じて安酸先生の講評を聞き、何に焦点を当て学生とかかわるかも明確にすることができました。

所属、領域を越えて、学生と患者の立場に立った学生指導についてグループの先生方と考える中で、学生理解や指導の方向性などについても他の先生方の意見から学ぶことが多くあり大変有意義でした。

欲を言えば、ディスカッションやロールプレイの時間がもう少しあるとよかったです。

グループワークのシートをグループ全員が書き込めるようになっていたり、成果物として共有できるとよかったですと思います。